

9月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。今回は12月定例会が開催予定です。



いちかわ

市議会だより

9月定例会

市長提出議案17件を可決

令和4年度決算を認定



天井等の改修工事を予定している行徳公会堂(行徳文化ホール1&1)

市議会は、令和5年9月定例会を9月1日から9月27日まで開催しました。

9月定例会では、市長から、「市川市子ども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」、「市川市国民健康保険条例の一部改正について」、「市川市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について」、「令和5年度市川市一般会計補正予算(第3号)」、「令和4年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について」などの議案17件と諮問1件、報告7件が提出され、これらを一括議題として8会派が代表質問を行いました。

議員からは、「消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的な法改正を求める意見書の提出について」、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の趣旨に鑑み、千葉県に対し、医療的ケア児の通学支援の実施を求める意見書の提出について」などの発議9件が提出されました。その他、23人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の17件をいずれも原案通り可決あるいは認定し、諮問1件については異議ない旨答申しました。また、議員提出議案については、提出された9件のうち、意見書案4件を可決、5件を否決しました。その他、請願1件を採択、1件を不採択としました。(代表質問は2〜4面、一般質問は5〜7面、審議結果一覧は8面に掲載)

決算審査特別委員会

委員長	竹内 清海
副委員長	国松ひろき
委員	
門田 直人	太田 丈之
つちや正順	つかこしたか
加藤 圭一	久保川隆志
西村 敦	清水みな子
小泉 文人	

◆主な議案

○市川市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険事業の安定的な運営を目的とする保険料水準の統一に向けた千葉県の取り組みを踏まえ、低所得世帯に配慮した上で国民健康保険税を見直すものです。

【主な質疑】

「今回、国民健康保険税の税率を9年ぶりに引き上げることだが、なぜ今のタイミングで引き上げるのか」との質疑に対し、「引き上げの理由については2点ある。1点目は令和12年度に県内の保険料水準の統一が見込まれており、段階的に保険料水準を引き上げることで保険料の急激な負担増を回避するためであり、2点目は国民健康保険事業費納付金の軽減措置が令和5年度に終了することから、6年度からの国民健康保険の財政赤字を抑制するためである」との答弁がなされました。

○市川市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

市民サービスの更なる向上を図るため、大野第5駐輪場の運営を民間事業者に引き継ぐこととするため、公の施設としての供用を廃止するものです。

【主な質疑】

「大野第5駐輪場が民営化された場合、現在、当該駐輪場で働いている人の雇用は守られるのか」との質疑に対し、「現在、大野第1、第2及び第5駐輪場をシルバー人材センターの会員7人ほどがローテーションで管理している状況である。大野第5駐輪場の民営化後については、そのローテーションの組み合わせを変更するなど、雇用が減らないような対策をお願いしている」との答弁がなされました。

○令和5年度市川市一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算案は、歳出において、行徳公会堂天井等改修工事監理委託料本年度支出額、老人福祉施設整備費補助金、ゴールドシニア事業(バス・タクシードライバー)交付金、校舎等改修工事費など、歳入において、障害者自立支援事業費等補助金、奨学資金事業指図書附金など、それぞれ10億1849万円を追加し、歳入歳出の総額を17億7683万1千円とするものです。

◆認定

○令和4年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について

令和4年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について、監査委員の意見を付けて議会の認定を求めるものです。

決算案について、市議会は決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。委員の構成は上記の通りです。(審査の内容は7面に掲載)

◆報告

9月定例会では、健全化判断比率、資金不足比率、継続費の継続年度終了による精算についての他、専決処分報告4件の、合わせて7件の報告がなされました。